令和８年１１月１２日

プレスリリース

一般社団法人家畜改良事業団

肉用牛ゲノミック評価の対象に一般去勢牛を追加します

（一社）家畜改良事業団（理事長　富田　育稔）は、これまで繁殖雌牛に限定していた肉用牛のゲノミック評価について、新たに一般去勢牛を評価対象に追加いたします。

当団では、平成 27 年度から繁殖雌牛を対象にした枝肉６形質のゲノミック評価を開始し、令和元年９月からは脂肪酸組成２形質、令和４年９月からは発育関連２形質、令和５年４月には在胎期間を加えた発育関連３形質の評価を受託してきました。

また、令和５年度から３年間実施してきた JRA 畜産振興事業「ゲノミック評価活用による和牛産地活性化モデル事業」においては、去勢牛も含めて市場でのゲノミック評価値の表示を実施し、十分な評価を得ました。繁殖雌牛だけでなく、肥育牛として流通する去勢牛についても、ゲノミック評価値が取引時の参考情報として活用できる可能性が確認されたため、モデル事業として試行してきた取組を一般の生産者も利用できる恒常的なサービスに移行することといたしました。

評価形質は、枝肉６形質、脂肪酸組成２形質および日齢枝肉重量の９形質とし、肥育牛に求められる形質を一括で取り扱うことで、コストを抑え、利用しやすいサービスとしています。

申込受付は、令和８年１２月１日（火）より開始し、１２月２３日（水）までに送付された試料について、令和９年１月末に評価を実施します。申込みの手続きについては、各都道府県の肉用牛ゲノミック評価窓口にお問い合わせください。

＜本件に関するお問い合わせ先＞
一般社団法人　家畜改良事業団
家畜改良技術研究所
群馬県前橋市金丸町316
担　当　遺伝検査部
荻野　敦(おぎの　あつし)
TEL:　027－269－2441
FAX:　027－269－9331
E-mail:　ogino@liaj.or.jp